

AI、そこに愛はあるのか？

千歳医師会
緑町診療所

いなくま よしひと
稲熊 良仁

昨今AIブームです。メディアでAIの話を書かない日はないほどです。私も興味本位から使い出したChatGPTですが、今はなくてはならない助手になっています。今回はChatGPTをはじめとするAI技術が私たちの生活と仕事に与える影響について考察したいと思います。

【ChatGPTのメリット】

時短と効率化

特に多忙な医師にとって、時短は非常に価値のある要素です。ChatGPTは瞬時にメールの下書きを作成したり、論文のアブストラクトを生成する能力があります。このAIを活用することで、日常のメール処理やブログの下書きがぐっと楽になりました。

情報収集

医療に関する最新の研究やガイドラインについてのリストを短時間で調査が可能です。この機能は、特に専門外の疾患や治療法について素早く知識を得る際に有用です。

【ChatGPTのデメリット】

感情の欠如

AIが生成するテキストは、しばしば感情やニュアンスが不足しています。このため、患者とのコミュニケーションやブログ記事のように、感情が重要な文脈では十分ではありません。AIが出力する文章はそのまま使えるわけではなく、自分自身の心を込めた修正は必要です。

誤情報のリスク

AIは既存のデータベースから学習しているため、誤情報や偏見を含む可能性があります。特に医療のように繊細な領域では、このリスクは重要な問題となります。

AIが作成した成果物も必ず人間のファクトチェックが必要です。

倫理的課題

AIが自動生成するコンテンツが、ヒトの判断にどれだけ影響を与えるか、またその責任は誰にあるのかといった倫理的な問題も発生します。これについては作成者の責任、法的整備が望まれます。

【AIの多様な活躍の場】

製造業

AIは製造業において、生産ラインの効率化に大きく貢献しています。例えば、AIは品質管理において、製品の不良率を大幅に減らすための分析を大規模モデルを作成して行ったり、供給チェーンの最適化により、コストを削減することができます。

農業

農業においてもAIは大いに活躍しています。特にドローン技術と組み合わせることで、収穫のタイ

ミングや病気の早期発見など、従来の方法では難しかった多くの課題に対応しています。

エネルギー

エネルギー業界においては、AIは供給と需要のバランスを自動で調整することができます。AIスマートメーターはエネルギーの無駄遣いを防ぎ、環境への影響を最小限に抑えることができます。

金融

AIは金融業界においても多くの変革をもたらしています。AIは大量のデータを素早く解析する能力により、信用リスクや市場トレンドを予測し、より精度の高い投資判断が可能になります（自分は株などはやりませんが、AIに負ける可能性が高いと思います）。

教育

教育においては、AIが個々の学生の学習進度や理解度に応じて、最適な教材や問題を提供することができます。これにより、一人一人に合わせた柔軟な教育が実現します。最近小学生がAIのサポートを受けて夏休みの自由研究を行っている様子がテレビで放送されました。

医療技術とAI

診療のサジェスト

AIは医師の診療をサポートする形で活躍が見られます。既往歴や症状、検査結果から最適な治療法を瞬時に提案するシステムが開発されてきています。これにより、診療の質と速度が向上する可能性があります。

音声入力電子カルテ

音声認識技術とAIの組み合わせによって、会話だけで正確なカルテ情報を入力できます。これにより、医師がより多くの時間を患者と向き合う診療に費やすことができます。

瞬時のデータ解析

ウェアラブルデバイスやセンサー技術を利用して、患者の体調や生体データをリアルタイムで収集することが可能です。集められたデータはAIによって瞬時に解析され、必要な場合は即座に医師に通知されます。

在宅医療の進化

テレヘルスやウェアラブルデバイスの発展により、全て自宅で完結する医療も現実的になってきました。AIがリモートで患者の状態をモニタリングし、必要に応じて医療スタッフに報告するシステムも考えられます。

【医師の仕事はなくなる？】

AIが高度になればなるほど、私たち医師が行う診療業務自体が奪われる可能性もゼロではありませんが、私はAIの登場でより高度な能力の医師や医療が誕生すると思います。AIの進化は止まりません。私たち医師がどれだけその波に乗れるか、また、どうリスクを乗り越えていくかが今後の医療の質に大きく影響を与えるでしょう。なにより、AIを使いこなせるかどうか、これからの医師に求められるスキルとなるでしょう。

以上、私見を披瀝させていただきました。

ちなみにこの文章はChatGPTを使って15分42秒で完成させました。

皆さんはどう思われるでしょうか。